



岩手県菅代村議会

No. 153

令和2年11月5日発行

議会だより

ふだい

届け の想



行政報告 …………… 29-

定例会概要 …………… 39-

定例会 …………… 4～59-

決算認定 …………… 6～79-

一般質問 …… 8～129-

その他・臨時会 …… 139-

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

10月10日、駅前にて

校長&ザミート&ポリス



村民の皆さんにお知らせしたい 梶屋村長の行政報告

工事の状況

上区の沢砂防堰堤は近々にも用地事務が完了し、年内に土砂流入防止ネットが施工される予定です。

津波防災事業は、12月下旬から運用予定の太田名部陸閘、普代水門及び宇留部海岸陸閘の自動閉鎖システム導入工事が10月中旬から2カ月間行われます。このため、小学校側の陸閘は日中の半開放、夜間閉鎖。県道側の陸閘は12月中旬の2週間全日半開放(信号機付片側交互通行)となる予定です。



毎日私たちを守っている普代水門

くろさき荘の運営状況

8月末での宿泊客数が2,451人と前年同期比1,342人(35%)の減少、事業収入も2,607万2千円と同期比2,034万4千円(43%)の減少と大変厳しい状況となっており、引き続き、コロナ対策に努めながら、小規模の会食・宴会の獲得増に取り組みます。



コロナ感染の危険がある中、くろさき荘スタッフの安全を守りながらのPR戦略が求められる

コロナ感染症対策

特別定額給付金は99.8%の給付をもって終了しました。高齢者等配食サービス事業は30人くらいの申し込みが続いており、予定どおり年度末まで継続します。

また、プレミアム付き商品券事業は計画の80%が販売済みとなっており、今後も積極的な購入を呼びかけつつ、追加対応の必要性も検討してまいります。

村内宿泊等助成事業は8月末実績で計画の43%と低調な利用状況であり、助成対象に近隣県在住者への拡大も検討します。

集会施設事業

茂市地域活動拠点施設建築工事が着工となりました。現施設を解体し、木造平屋施設を建築するものです。

また、旭日区自治会より、はまゆり会館の寄付申し込みをいただき、採納する譲与契約を締結しました。



建築から36年が経過したはまゆり会館。これにより、村負担での施設改修が期待されます

9月 定例会

Wi-Fi環境整備事業など

1億2110万円を増額!

村議会第9回定例会(9月定例会)が9月16日から3日間開かれ、内容が、普代村営住宅条例など2条例の一部改正のほか、令和2年度の一般会計と4つの特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意など11議案が審議され、全員賛成で原案可決、同意されました。また、令和元年度一般会計および各特別会計決算の認定は、7会計とも全員賛成で認定されました。内容は次のとおりです。

一般会計 補正予算

補正予算で1億
1453万円増

▽令和2年度一般会計補正
予算(第9号)

歳入歳出に1億1453万
円を増額し、総額で45億87万
4千円としました。

主な歳入歳出は、Wi-Fi
i環境整備事業皆増782万
2千円、白井漁港漁村再生交付
金事業工事3240万円、「誘
客多角化等のための魅力的な
滞在コンテンツ造成」実証事

一般会計 補正予算

公共施設への
Wi-Fi整備

業皆増2000万円、ふるさ
と納税を活用した地域産業促
進事業1734万1千円、道
路施設補修・補強工事120万
円などが増額されています。

Wi-Fi環境整備事業皆増
782万2千円では、インター
ネットへ安定して接続するこ
とができるWi-Fi環境を公
設に整備します。これにより
携帯電話など情報端末の使用
がしやすくなり、情報収集や
発信に大きく役立ちます。場
所は、役場とくろさき荘、B
& G体育館、管理センター、

社会体育館です。
増え続ける
ふるさと納税

ふるさと納税を活用した地
域産業促進事業1734万1
千円では、ふるさと納税の増
額に伴い発生する返礼品や
(株)青の国ふだいの委託料
ふるさとチョイスの使用料な
どを増額します。

ふるさと納税は、元年度実
績が7118万円でしたが、
2年度は10月11日時点で既に
1億4千万円を超えています。
10月はマツタケの注文が多く、
今後はアワビが期待されてい
ます。

役場庁舎にWi-Fiがあれば、回線が混み合う災害時でも外部との情報共有が円滑に行える

定例会質疑

まついそトンネル工事

野場義時 議員



問 通行止めにするのか。うまく期間を区切って漁期にぶつからないように。

答 大村建設水産課長
未発注のため詳細は未定であるが、止めたとしても時間帯で止めるなど、長期に止めることはないと思う。

有害鳥獣対策実施隊

古沼和也 議員



問 出勤実績と1回の出勤手当の額は。

答 山崎農林商工課長
9月15日時点で設置と処理合わせて50日、延べ225人出勤。手当は、ツキノワグマのわな設置で1カ所2万円、処理で1万円となっており、それを出勤人員で割っている。

マイナンバーカード申請

正路正敏 議員



問 発行件数と村でどのように推進していくか伺う。

答 道下住民福祉課長
2年度の4～8月末で34件、村の発行累計で325件となっている。管内も含め全国的な先進事例等を調査勉強させていただきたい。

インフルエンザワクチン

金子泰男 議員



問 ワクチン接種の優先順位はあるのか。

答 坂下医師・歯科診療所事務長
医療関係者の接種からと思っているが、一般接種は特に優先順位を設定しなくても実施可能と考えている。

村営住宅の家賃設定

大上智 議員



問 村営住宅等の家賃決定方法と補助を伺う。

答 大村建設水産課長
村営住宅は入居者の前年度所得によって家賃算定され、その他住宅については、村が民間より低めの設定をしている。

答 森田政策推進室長
家賃の基準額以上については、ふるさと定住促進のため助成を行っている。

普代橋の完成時期

嵯峨典行 議員



問 普代橋の工事が進んでいない。工期は1年ということだったが、今後の見通しを伺う。

答 大村建設水産課長
普代橋を当時建設した図面が県に無く、見えない部分を確認しながらの作業となり遅れている。完成見込みは来年の8月頃になる予定である。



早期の開通が期待される普代橋

魅力的な滞在コンテンツ
造成事業

中上一登 議員



問 事業内容がECサイト（ネット上で商品販売するWebサイト）の構築や商品開発ということだが、委託先はどこを想定しているか。

答 山崎農林商工課長
一般社団法人環境メディアフォーラムで構築や商品開発を行い、株式会社青の国での運営を想定している。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和2年度 普代村一般会計補正予算（第9号） 補正額1億1453万円を追加し、歳入歳出予算の総額を45億87万4千円とするもの。 歳出では総務費で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、指定避難所のWi-Fi環境整備委託料782万2千円などを増額。 衛生費では、同交付金で体温検知機能付きカメラ・タブレットを購入し、各種事業や避難所運営の感染症対策のため整備。 商工費の「誘客多角化等のための魅力的な潜在コンテンツ造成」実証事業では、若年層をターゲットとした周辺エリアのPR動画や灯台のライトアップなど、新たな旅行者の構築システム作成のため、報償費や委託料など2000万円を増額。 一方で、観光費や教育費で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定していた各種事業（インバウンド教育旅行、文化祭やグラウンドゴルフなど）が中止となり約600万円を減額。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和2年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額21万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億1932万2千円とするもの。一般管理費の増。	
議案第3号	令和2年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号） 補正額323万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億3917万3千円とするもの。 新型コロナウイルス感染症対策に係る医療従事者慰労金やマスク・消毒液等、衛生資機材などの施設備品類購入による増。	
議案第4号	令和2年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第3号） 補正額293万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億1636万1千円とするもの。白井簡水取水ポンプ更新に係る修繕料の増。	
議案第5号	令和2年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） 補正額18万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3238万5千円とするもの。保険料還付金の増。	
議案第6号	普代村地域活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例 旭日区自治会のはまゆり会館施設寄付採納に伴い、公共施設として村が設置及び管理運営をすることから、名称・位置を同条例に追加するもの。名称は「旭日区地域活動拠点施設」。令和2年10月1日から施行。	可決 (全員賛成)
議案第7号	普代村村営住宅条例の一部を改正する条例 令和2年10月完成予定の上区地区住宅を同条例に追加することから一部改正を行うもの。 面積は44.71㎡（約13.5坪）木造平屋建、移住定住者へ向けて今後募集をする予定。	
議案第8号	旭日区地域活動拠点施設（仮称）に係る指定管理者の指定 施設の管理者を旭日区自治会に指定。指定期間は令和2年10月1日から令和3年3月31日。	
議案第9号	役場庁舎等カーボン・マネジメント強化事業の請負契約の締結に関し議決を求めること 施設のエアコン設備改修工事請負契約の締結をするもの。 契約金額は9955万円、請負者は株式会社興和電設（盛岡市）。	
議案第10号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い、現教育委員会委員上神田敬二氏（中央区）の再任に関し同意を求めるもの。 任期は、令和2年10月1日から4年間。	同意 (全員賛成)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 和村淑子氏（中央区）の推薦について、議会に意見を求めるもの。任期は、令和3年1月1日から3年間。	原案答申 (全員賛成)
報告第1号	令和元年度 普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率	—
認定第1号	令和元年度 普代村一般会計歳入歳出決算の認定	認定 (全員賛成)
認定第2号	令和元年度 普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和元年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和元年度 普代村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和元年度 普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第6号	令和元年度 普代村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第7号	令和元年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	
発議案第1号	「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」の提出 新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方自治体は福祉・医療や地域経済活性化などの対応や感染症対策にも迫られ、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想される。そのため、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実することや、市町村の極めて重要な基幹税である固定資産税制度の家屋・償却資産を含めた見直しを行わないことなどを国に要望するもの。	可決 (全員賛成)



大上 智 決算特別委員長

令和元年度の決算を認定

村政のさまざまな分野で活発な意見

決算特別委員会（大上智委員長・委員8人）は9月17日から18日までの2日間開かれ、令和元年度の一般会計と6特別会計決算の歳出総額44億4355万3千円を審査しました。村政のさまざまな分野で質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

監査意見

効果的な行政運営を

和久喜美男 監査委員
大上 浩史 監査委員

一般会計と特別会計の決算総額は、歳入47億7783万9千円、歳出44億4355万3千円で、前年度に比べ、歳入で10.8%の増、歳出は7.54%の増となっている。主な要因は、台風第19号災害に伴う復旧事業費の増加によるものである。

村の財政は、厳しい財政状況が続いているが、令和元年度は、特別交付税や震災復興特別交付税などが交付され、地方交付税は総額で17億7721万8千円となり、前年度に比べ15.46%の増となった。

本年度は、道路施設補修事業、白井漁港漁村再生交付金事業、台風第19号被害に係る単独災害復旧事業等が実施され、翌年度へ13億

9429万円を繰り越している。実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、10.2%で前年度の10.4%を0.2ポイント下回っている。

一般会計予算の歳入の47.31%を占める地方交付税は、今後も増加は期待できず厳しい財政状況が予想されるが、村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮するとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

決算特別委員会質疑

新規作物栽培の成果

正路正敏 委員



問 新規作物栽培チャレンジ支援事業と新規作物栽培拡大支援事業はどのような作物にチャレンジし、成果はどうであったのか。

答 山崎農林商工課長

新規作物栽培チャレンジ支援事業は2団体で、1つは耕作放棄地を有効活用するため、ウドやワラビなどを栽培し地域内消費をした。もう1つがブロッコリーの栽培実証で系統出荷し、順調に伸びている。新規作物栽培拡大支援事業は、カボチャ、スイカ、メロンを栽培し、地域内販売をした。

出会い創出事業の成果

古沼和也 委員



問 結婚推進員事業や出会い創出応援事業の成果は。

答 森田政策推進室長

普代村で盛岡市の女性と交流の場を持ったが、成立した事例はなかった。

上区の砂防工事

嵯峨典行 委員



問 上区、佐々木氏宅裏の砂防工事の今後の予定は。

答 大村建設水産課長

応急的なものは12月着手予定、本体については3年度中の完成見込みと県から聞いている。

太田名部の新魚市場

金子泰男 委員



問 新魚市場整備計画検討業務委託料の内容は。

答 大村建設水産課長

市場建設の補助を受けるための資料作成を委託したもの。市場の中身や規模はこれから漁業者等と話し合っ決めていく。



太田名部の新魚市場建設予定地

電気使用料免除

野場義時 委員



問 運動公園野球場の電気使用料を減免できるものか。児童生徒から使用料をいただいて当然の面もあるが、中学校が宇部中との合同チームを作り県新人大会に向けた練習をしている。その分について、減免の余地はないか。

答 三船教育長

条例もあるため検討させていただきたい。

くろさき荘の利用状況

中上一登 委員



問 昨年の11～1月に宿泊者数と食堂利用者とも減少している理由。GOTOトラベルが控えている中、予約状況はどうなっているか。従業員の安全を守りながらやっていただきたい。

答 山崎休養施設管理員

減少については台風第19号の影響によるキャンセルとなっている。8月に30名ほどの予約があった。熱感知をする機械の利用と併せ、手すりなどの共有部分の消毒などしっかり行い対応したい。



大上 智

新たな施策・戦略について

休止事業は早期再開を

榎屋村長

質問 新型コロナウイルス感染症の発生による影響が、今後の改訂型施策・戦略を伺う。

答弁 榎屋村長 コロナ禍で行事・イベント中止等、取り組みが難しい中であるが、コロナ第三波、インフルエンザ感染に最大限の注意を払いながら、新たな施策・戦略を講じる。

現在、休止中のはまスポ委託分のスポーツ教室は、運営委員会などで協議し、早期の再開を目指す。また、小中一貫校建設は、庁内でのスピードアップに努める。

「コロナ対策による学校への影響」

質問 コロナ対策により、教職員や児童生徒への影響が心配される。特に中学3年生の中絶や受検勉強等への影響はどうか見解を伺う。

答弁 三船教育長 県中総体、合唱

交流会及び運動会等の学校行事は、中止あるいは延期となり、活動の場・学びの場は縮小の措置を講じざるを得なかったが、学習の遅れはなく進んでおり、地区中総体も教育関係各位の熱き思いから開催できた。もし感染者が確認されたとしても、いじめ等につながらないよう指導をお願いしている。

旧鳥茂渡小学校の有効活用

質問 当校舎は平成19年3月に廃校になってから本格的な有効活用に至っていない。旧割沢鉄山の歴史資料館や災害時の避難所、または時代に即応したサテライトオフィス等に有効活用できないか。

答弁 榎屋村長 校舎は築50年を迎え老朽化が激しく、改修や修繕に多額の費用を要することから、現状での維持管理を適切に行う中で割沢鉄山等の埋蔵文化財発掘物



老朽化が著しい旧鳥茂渡小学校

や諸資機材などの管理倉庫としての利用が現状ではベターと考える。当校舎に限らず、助言の歴史資料館や防災施設等について、例えば校舎隣りの屋内運動場は耐震もクリアし内部改修も容易と思われるので、財源的な課題も含め調査をしたい。

外部専門家招へい事業の結果報告

質問 本年度は村総合発展計画の最終年

度である。平成28～30年度で行われた地域人材ネットワーク外部専門家招へい事業の結果報告会を開催し、情報を共有して次の施策に生かすべきである。

答弁 榎屋村長 毎年度末に関係者を対象に調査結果報告会を行ってきた。それぞれの事業が終了した後もその取り組みを生かして活動を展開していきたい。

アフターコロナ対応について

積極的な環境整備を

榎屋村長

中上一 登



今後、国道45号と三陸沿岸道路の切り替え工事が行われる力持付近

質問 村内の要所にフリーWiFi環境を整えることが村民のコロナ感染防止や防災、教育あるいはさまざまな働き方改革に役立つのではないだろうか。キラウミの駐車場にもWiFi整備をする

など、今後、観光面でのインバウンドが期待できない中、国内の人から普代村を選んでもらうためにはITインフラ整備は重要である。村長の所見と教育への活用としての教育長の所見を伺う。

答弁 榎屋村長 現在、観光施設等でのWiFi環境については、黒崎園地、普代浜園地キラウミ、駅前広場、総合運動公園や管理センターの駐車場、さらに上区の災害後方支援広場への追加整備に向けて所要額の調査を行っている。環境整備に積極的に取り組んでいきたい。

答弁 三船教育長 子供たちが高度情報化社会を生き抜くために授業でICTを効果的に使い、学びを含め情報活用能力を高めること今後ますます重要と捉えている。

三沿道開通後の民間経済

質問 三陸沿岸道路全線開通により、移動時間が短縮されることはメリットとなるが、地域経済にとってはデメリットでもある。開通後の民間経済への対応や村内道路整備に対する所見を伺う。

答弁 榎屋村長 商業は、国道45号沿いの個人商店への影響が元村地区でさらに強まり、白井以北では急激にも出て、これが継続をしてくること大変に心配をしている。本村を目的にきていただくための商品・商店づくりのほか、ECサイトや宅配便を使って外からお金を稼ぐ取り組みも考えたい。これらの対応について、より細やかに検討し、官民一体で支えていかなければと、思っている。遅れている道路整備の前進には鋭意努めなければならぬ。グリーンロードや三沿道駅前1号線、普代小屋瀬線などの基幹道路は、関係各位や地権者の協力により段階的に進んできているが、救急救命車両や防災関係車両の通行に支障が出る状況を早く解消できるように取り組む。



正路正敏

安全運転支援装置の導入補助を

国の動向を注視し検討

―― 榎屋村長

質問

令和3年中には三陸沿岸道路が全線開通し、車で出かける機会も多くなり普及に思われる。高速道路の逆走、あり運転、高齢者の事故等多く報道されている。

そうした中、国では今年度から65歳以上の方を対象にサポカー（安全運転サポート車）と後付けの安全装置を購入支援する制度が始まっている。多くの自治体でも同様な支援を行い、ドライブレコーダーにも支援しているところもある。高齢者、歩行者の安全等考え、支援制度を用意してもいいのではないか。村長の見解を伺う。

答弁

榎屋村長 国では65歳以上のドライバーの交通事故防止対策の一環として補助金を出して支援している。具体的には、普通乗用車購入で衝突被害軽減ブレーキのみの車は6万円、併せてペダル踏み間違い装置の両方

を付ける車は10万円。同様に軽自動車は3万円または7万円、中古車は2万円または4万円が補助されている。また、後付けでのペダル踏み間違い装置の購入は障害物を感知する機能付きが4万円、急進抑制装置のみが2万円となっており、概ね実費の半分が補助されている。

県内自治体での単独補助などの導入状況は、市町村で唯一、八幡平市が昨年度から市内で70歳以上の装備車両購入者に補助をしている。また、岩泉町では公用車1台に試験導入をしている。補助制度の創設については、国の制度で2分の1程度が補助されていること

や、後付け分への国の補助金と地方自治体の補助金の併用が認められていないことを踏まえ、現時点でくのかさ上げ対応は考えていないが、国が来年2月での補助打ち切り方針を出しているの、動向を注視しながら検討する。



便利だが凶器となり得る自動車。地方で免許返納は難しいが、装置導入は検討していただきたい



ドライブレコーダーは高いが、万が一に備え整備したい。現在は公用車にも付けられている

保健師増員し 村民の健康管理を

充足に努める

―― 榎屋村長



大上浩史

質問

高齢化社会における健康管理に力を注がなければならぬ。業務にあたる保健師の増員について村長の考えを伺う。

答弁

榎屋村長 保健センターの体制について、正職員技術者の保健師2名と管理栄養士1名、事務職の正職員または会計年度任用職員1名の計4名に加え、繁忙期の行政保健師経験者のパート1名の体制で取り組めばと考えている。ただ、昨年度採用の保健師が3月末で退職し、4月からは保健師1名が不足状態であり、その充足に努めている。

充足については、県内の大学に相談をかけたほか、学校関係ルートとは別に斡旋について4業者と協議を行い、すでに1社と契約をしている。そういった状況を見ながら、他市町村の採用試験の結果が出る12月頃に村での随時募集も改めて行っていきたい。

質問

保健師による在宅高齢者の巡回健康管理はどうなっているのか。

答弁

道下住民福祉課長 介護支援員が訪問して内容等を把握しているが、定期的な保健師巡回は行っていない。



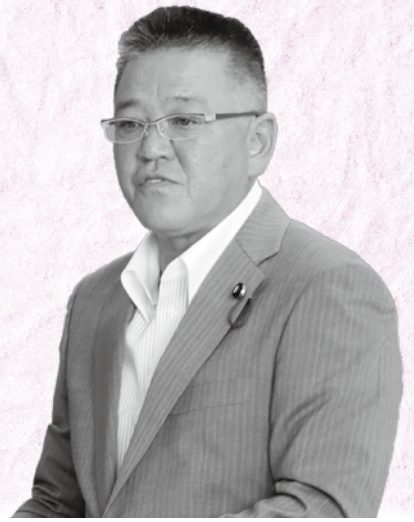
ちょっとしたことで保健センターまでどうぞ



健康相談会の様子。保健師が丁寧に説明していた



介護予防教室の様子。講師が冗談を言いながら進行し、笑いながらどなたでも楽しめる内容であった



古沼和也

水道施設の道路整備を

現状では支障はない

榎屋村長

質問 村の水道普及率は97・93%で、最も低いのが茂市地区の73・08%である。未加入の理由は様々考えられるが、加入に向けてどういった取り組みをしているか伺う。

また、耐用年数を超過した配水管がどの地区にいくつあるか。

答弁 榎屋村長 未加入数は26世帯と把握している。理由としては、自家水道を有している方や本管からの引き込み距離があまりにも長いことなどが課題となっており、老朽配水管については、普代地区の更新が完了し、間もなく白井地区も完了予定。残りは、茂市地区の555mと黒崎地区の1558mである。

質問 水道施設に通じる道路整備は重要と考えるが、整備されている状況にあるか。

答弁 榎屋村長 頻繁に使用する浄水場や配水池への道路は、

普代簡水の旧役場脇の配水池が未整備となっているが、他の簡水では車の通行ができる管理用道路を整えており、通常の施設管理には支障がない状況と考えている。

質問 老朽管の更新は早急に対応する必要があるのか伺う。

答弁 榎屋村長 数年はかかるが、順次に計画的に進めていく。

質問 未登記道路がいくつあり、何年くらいで解消できるか。

答弁 榎屋村長 未登記道路用地は、筆界が確定している個人・民間会社等名義の道路用地が296筆ある。古い時代からのものも含め共有地も加え、相続登記未了のところも多く、困難を極めている状況であるが、少しずつでも解消が図られるよう取り組みたい。



茂市地区の浄水場への道



堀内簡易水道

請願・陳情

① 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
岩手県町村議会議長会
会長 上山 文雄氏

採択とし、**国に意見書送付。**

② 緊急経済対策に「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める陳情
岩手県商工団体連合会
会長 関沢 浄氏

継続審査とした。

人事

① 普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
任期満了に伴い、上神田敬二氏を再任するもの。全員賛成で同意しました。

② 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
和村淑子氏の推薦について、全員賛成で原案のとおり答申しました。

7/2 第6回臨時会

審議した案件は、令和2年度一般会計補正予算と普代平井賀線道路災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて全員賛成で可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第6号）

補正額164万8千円を増額し、総額を41億8772万1千円としました。歳出では、4分団の可搬ポンプ購入費241万円や中小企業者等が支払う家賃の一部補助をする地域企業経営継続支援事業費補助金18万7千円などの増額。ほか、コロナ対策緊急雇用助成事業が国費対象となったことに伴う減額。

7/31 第7回臨時会

審議した案件は、令和2年度一般会計補正予算や一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について全員賛成で可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第7号）

補正額1億6788万4千円を増額し、総額を43億5560万5千円としました。歳出では、小中一貫校建設に係る積立金2000万円やふるさと応援基金積立金5000万円のほか、マスクや避難所用間仕切り、フェイスシールドなどコロナ対策費1283万1千円増など。

▽一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

国及び県の例に準じ、コロナ防疫作業に従事する職員への防疫作業手当の特例を定めるもの。

議会活動と村民の活躍

9月定例会前後に行われたイベントについて、その一部を紹介します。
議会の活動や村民の活躍があることを知っていただきたいです😊



県への要望

8月25日、市町村要望が行われました。太田名部トンネルから黒崎トンネル間は、豪雨による山側からの土砂流入で通行止めになることがあるため、災害防除事業の促進や歩道整備を。上区は普代の沢砂防堰堤の早期完成、及び既設砂防・治山施設の土砂や流木等堆積物の撤去や堤体のかさ上げなどの強靱化を。上区・旭日区のフラップゲートの設置・改修などを県に要望しました。

タブレット研修会

8月19日と9月10日、議員のタブレット研修会を議場で行いました。コロナ対策のためにオンライン研修とし、スクリーンに映る講師から丁寧な説明をいただきながら研修を行いました。

議会では今年度からタブレットを導入しており、印刷物の削減やデータ整理などに大きく役立っています。



小学校運動会

10月10日、小学校運動会が行われました。赤組も白組も全員で一生懸命応援している姿が印象的で、中でも真剣に応援する中、時折見せる笑顔が素敵でした。

コロナ対策で開催が難しい中、児童と先生方をはじめ、草刈りや会場装飾など関係者による準備も一苦労だったと思います。雨が降らなくてよかったです😊



音楽の広場

10月10日、駅前にて音楽の広場実行委員会による音楽イベントが行われました。ステージでは、村内外からのど自慢が集まり、カラオケやバンドによる演奏が行われたほか、中学校の吹奏楽部による演奏が披露されました。イベントが少なくなる中での開催に、参加者は思いの楽しいひと時を過ごしました。



8/25 第8回臨時会

審議した案件は、令和2年度一般会計と国民健康保険診療施設特別会計の補正予算について全員賛成で可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第8号）

補正額3073万9千円を増額し、総額を43億8634万4千円としました。歳出では、海洋センタートイレの洋式化450万4千円や役場のエレベーター改修1540万円など。これはエレベーター耐用年数が約17年に対し22年経過していることと、改修義務はないものの建築基準法が平成21年に改正され安全対策を講じたものにしなければならないことから、国のコロナ臨時交付金を活用し、村負担なく改修を行います。

10/7 第10回臨時会

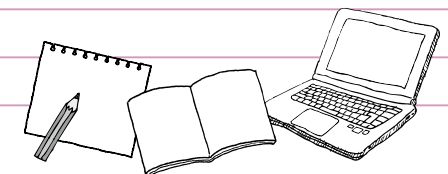
審議した案件は、令和2年度一般会計と国民健康保険診療施設特別会計の補正予算、財産の取得に関し議決を求めることについて全員賛成で可決しました。

▽令和2年度一般会計補正予算（第10号）

補正額4900万9千円を増額し、総額を45億4988万3千円としました。歳出では、ふるさと応援基金積立金2000万円。普代浜園地キラウミや黒崎キャンプ場、災害後方支援拠点広場などの屋内外に設置するWi-Fi環境整備事業1674万8千円、地域福祉計画等策定事業265万9千円、黒崎地区の道路新設改良に係る用地購入費と立木等補償費で93万8千円などを増額しました。

▽財産の取得に関し議決を求めることについて

国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台のPC端末を実現するためのもので、タブレットや関係機器を整備します。





遊具がほしい

やまもと こう
山本 高 先生

★ 診療所近くの公園に園児とか低年齢の子が遊べる遊具があればいいです。

子ども園には、木登りできる木があればいいですね。例えば河津桜はどうでしょうか。木登りのほか木を好む昆虫を観察したり、桜が満開になったらみんなで花見をしながらお弁当を食べたり、園児にいろんなものを見ているんなことを体験してほしいです。

あとは男性職員が少ないので、男性がいれば心強いですね。😊

さくら組の園児が似顔絵を描いてくれました



子供が集まれる場所を

はたけやま
島 千エミ先生

黒崎地区に子供が集まれる場所が欲しいです。例えば、小規模多機能ホームのところに簡単なベンチやブランコ、鉄棒があればいいですね。同行する大人がいないと難しいかもしれませんが、これから寒くなるので公民館を開けていただいて、室内で遊べればいいかもしれません。

子ども園の園庭には乳児向けの遊具があればいいです。あとは小学生がジャンプして遊ぶためにタイヤだったり、幅広い年代が遊べる遊具があれば。

診療所近くの公園に遊具とトイレの設置、草刈りなどの環境整備をしていただければ。😊

広報委員からの返信



古沼広報委員

こういった意見はこども園の職員同士では話せても、提言はしにくいと思います。そういった意見を拾うためにも、村政懇談会に出させていただいたり、まちづくりアンケートに書いたり、あとは議員がこういった意見を聞かなければならないと思いました。園庭には既にジャングルジムや畑などでスペースが埋まっています。職員の方々はいろんな構想をお持ちだと思うので、思ったことは採用されるか別として、どんどん担当者なり議員に相談して頂ければと思います。皆で話し合い園庭のリフォーム図を検討するなど、村の在り方を全員で考えていきましょう。



正路広報副委員長

- 1、遊具は老朽化して撤去したばかりです。度々議会でも話題になりますが、村では新しく設置の予定はないとのこと、要望は多いものと思いますので後押しできればと考えます。
- 2、河津桜はキラウミや村内各地に植樹していますし、緑の村等木登りできる場所もあります。園外活動で子供たちはいろんな活動、体験がより多くなるのではないのでしょうか。
- 3、先生自ら出身校等々男性の保育士さんにお声がけし、こども園に応募していただく事も一考かと思えます。

あとかぎ



まだまだ新型コロナウイルス感染症が終息する気配もない中、インフルエンザの季節になりました。コロナのワクチンはいつになるのか分かりませんが、インフルエンザの予防接種は行ってください。

3・11の震災から10年になるうとしていきます。岩手日報に「あの日の時」という記事が連載されています。私のあの時は、消防団での警戒中、波に追われた記憶で今でも昨日のように思い出されます。またいつか、必ず来ます。ご油断なく。

(正路正敏)

村ではふるさと納税の寄付額が増えています。それによって学校給食費の無料化などが実現されていますが、無料化によって給食を作っている方たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

盛岡市で行われたゆるキャラグランプリでは、全国から395のキャラクターが出場した中で、村のすっきいとえんぞーは49位(県内2位)だったそうです。(古沼和也)

議長 中村 裕
発行責任者
議会広報常任委員会

委員長 嵯峨 典行
副委員長 大正 敏智
委員 古沼 和也

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

